

# もも管理特報 No. 2

令和4年3月29日  
みな穂もも振興会  
みな穂農業協同組合  
富山県新川農林振興センター

## 1 生育状況

- ・「あかつき」の発芽は、3月13日頃となった。
- ・「あかつき」の開花始めは、平年並みの4/9頃と予測される。
- ・また、新潟気象台発表の2週間気温予報では、4月8日までの気温は平年並みと予報されている。
- ・今後の気温や生育状況に注意し、計画的な作業に努める。

果樹研究センター開花予測（3/28時点）

年次	あかつき	
	開花始期	開花盛期
R4年(予測)	4/9	4/12
R3年	3/30	4/3
平年	4/10	4/13

※最新の開花予測は、富山県園芸研究所ホームページで公開しています。参考にしてください。

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1661/>

## 2 病害虫防除

### <ポイント>

- ・4月は、せん孔細菌病、灰星病の重要防除時期である。下記の時期を目安に、開花状況に合わせて防除を実施する。また、薬剤防除は、かけムラが発生しないように注意する。
- ・昨年、一昨年のように開花してから低温が続く、開花期間が長引く場合は、2回目防除からの散布間隔が14日以上開かないように、落花期になっていなくても3回目防除を実施する。

### (1) 薬剤防除

【結実樹】

回数	散布時期	対象病害虫	薬剤名と希釈倍率		(参考) 水100ℓ 当たり 薬剤量	10a あたり 散布量	防除 実施日 (自己記入)
2	4/6~8頃 開花直前	せん孔細菌病	ムッシュボルドーDF ※1	500倍	200g	350ℓ	
3	4/16~18頃 ※2 「川中島白桃」 受粉後	せん孔細菌病 灰星病	アグリマイシン-100 ロブラール500アクア (展着剤 マイリノー)	1,500倍 1,000倍 20,000倍	66g 100cc 5cc	350ℓ	
特 散	4月下旬頃まで 粗皮の粗くない 若い樹が対象	コスカシバ (日焼け防止)	ガットサイドS ※3	1.5倍	樹幹部及び主枝に 塗布		

※1 せん孔細菌病の多発園では、展着剤（アピオンE、1,000倍）を加用する。

※2 縮葉病の被害葉は見つけ次第、基部から摘み取る。

※3 成分MEPを含む殺虫剤の樹幹処理は、収穫後～収穫までいずれかの剤（ガットサイドS、トラサイドA乳剤、ラビキラー乳剤、ガットキラー乳剤、サッチューコートS）1回のみを使用とする。

- ・農薬散布時は、近隣に告知するとともに、周辺の他の作物に薬剤が飛散しないように十分注意してください。
- ・また、使用前に農薬ラベルの登録内容をよく確認して使用してください。

【未結実樹；植付け1～2年目】

回数	散布時期	対象 病害虫	薬剤名と希釈倍率		水100ℓ 当たり 薬剤量	10a あたり 散布量	防除 実施日 (自己記入)
2	4/6～8頃 開花直前	せん孔 細菌病	ムッシュボルドーDF ※1	500倍	200g	100ℓ	
3	4/16～18頃 ※2	せん孔 細菌病	アグリマイシン-100 (展着剤 マイリノー)	1,500倍 20,000倍	66g 5cc	100ℓ	
特 散	4月下旬頃まで	コスカシバ (日焼け防止)	ガットサイドS ※3	1.5倍	樹幹幹皮及び主枝に 塗布		

※1 せん孔細菌病の多発園では、展着剤（アピオンE、1,000倍）を加用する。

※2 縮葉病の被害葉は見つけ次第、基部から摘み取る。

※3 成分MEPを含む殺虫剤の樹幹処理は、収穫後～収穫までいずれかの剤（ガットサイドS、トラサイドA乳剤、ラビキラー乳剤、ガットキラー乳剤、サッチューコートS）1回のみでの使用とする。

## (2) 耕種的防除

### 【灰星病】

- ・ **花腐れ症状**（花卉が褐色になり腐る症状）は、見つけ次第切除し、園地外で処分する。

### 【せん孔細菌病】

- ・ 芽の枯れ込み、葉芽の奇形、不発芽、枝が黒～褐色に変色等の **春型枝病斑** が疑われる枝は切除し、園地外で処分する。



花腐れ症状



春型枝病斑

## 2 今後の管理

### <ポイント>

- ・ 本年のあかつきの生育は平年並み～やや遅く、花卉は見えないが丸くふくらみ赤く色づいてきており（3月28日時点）、摘蕾の作業適期を迎えている。
- ・ 開花期の低温による結実不良のリスクを減らすため、**摘蕾、摘花で除去する花蕾の量は、全体の70～80%程度**とする（一発強摘蕾：90%摘蕾は極力控える）。
- ・ 花粉のない品種（「川中島白桃」、「なつき」等）では、開花率が50%程度と80%程度に達した頃に、人工受粉を実施する。
- ・ 樹勢の弱い樹に対しては、すべての花蕾、幼果を摘み取り、追肥を行う。
- ・ 定植した苗木は、土壌水分の変動に弱いため、マルチを設置し、こまめにかん水を行う。

## (1)摘蕾、摘花

- ・詳細は、前号（もも管理情報No.1 3月4日発行）を参照してください。

### 【摘蕾、摘花で残す花蕾の数の目安】

果枝長	慣行
短果枝	先端付近に1～2個
中果枝	中央部に2～3個
長果枝	中央部に4～8個
花蕾1個当たりの枝の長さ	8cm

## (2)人工受粉

- ・花粉がある品種（開花・開葯しているもの）に毛バタキ（鳥の羽根等、花粉が付きやすいものが適当）等で軽く触れる。
- ・毛バタキに花粉（黄色い粉）が付着するのを確認し、花粉のない品種のめしべを同じ毛バタキで軽くなぞる。



## (3)弱樹勢樹対策

- ・弱樹勢樹は、他の樹に比べて、①展葉が遅い、②展葉後の葉色が薄い、③新梢の伸長が悪い等の兆候がみられる。
- ・兆候を確認した時点で、すべての花蕾、幼果を除去し、硫安の追肥を行う。

### 【施用量の目安】

目的	施用時期	肥料名	樹齢等	1樹あたり 施用量
追肥	弱樹勢樹の兆候が みられた時点	硫安	成木（6年生～）	1kg
			若木（3～5年生）	500g

## (4)定植した苗木の管理

- ・苗木は根量が少ないため、土壌水分の変動に弱い。降霜の危険性がなくなってからマルチを設置し、高温乾燥が続く場合はこまめにかん水を行う。

## (5)凍霜害対策

### <発生しやすい条件>

- ・午後6時頃の気温が10℃以下でかつ1時間に1℃以上の気温の低下がみられる晴天無風状況では、翌朝、降霜の危険性がある。
- ・ももは、開花前から落果直後の幼果期にかけて、-2.5~-2.1℃の低温に1時間程度遭遇すると被害が発生する危険がある（下図参照）。

### <対策>

- ・敷きわら等のマルチは、地温の上昇を妨げるため、降霜の危険性がなくなるまで設置を控える。
- ・雑草の草丈が長い場合は、短く刈り込む。
- ・冷気の通りを妨げる防風ネットや障害物等は除去する。
- ・開花直前又は開花中に被害を受けた場合は、残った健全花に人工授粉を徹底し、結実確保に努める。

参考) 「あかつき」の発育程度別の安全限界温度（福島県農林水産部農業振興課、2019）

発育ステージ	発芽期	花蕾赤色期	花弁露出始期	花弁露出期	開花直前	開花始期	満開期 ~ 開花終期	落花期	幼果期	
										
安全限界温度 (℃)	—	-2.6	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	—	-2.1	-2.1

## 5 農作業安全～いのちを守る作業安全は全てに優先する～

- ・農作業での安全を確保することは、農業経営を続けていくうえでの要となります。
- ・作業の安全を確保し事故を発生させないため、日々の作業の中で危険な場所や作業を把握したうえでその情報を作業員で共有し、必要な対策を講じましょう。

## ○3月下旬～4月 ももの作業チェック表

作業内容	作業のポイント	実施適期	実施 予定日 (自己記入)	実施日 (自己記入)
摘蕾	<ul style="list-style-type: none"> <li>開花期の低温による結実不良のリスクを減らすため、一発強摘蕾（90%摘蕾）は行わず、70～80%程度（慣行）とする</li> <li>花粉のない品種（「川中島白桃」等）は上向きの蕾を軽く落とす程度とする</li> </ul> 成木、若木の主枝・垂主枝先端や伸ばしたい枝、定植1～2年目の樹は全て摘蕾する ※3 今後の管理（1）参照	3月下旬～ 4月上旬		
人工授粉	<ul style="list-style-type: none"> <li>花粉の無い品種（「川中島白桃」、「なつき」等）に対し、50%程度開花時および80%程度開花時に実施する</li> <li>晴れた気温の高い日に行う</li> </ul> ※3 今後の管理（2）参照	開花期		
防除の実施	※2 病害虫防除（1）参照			
灰星病・せん孔細菌病罹病枝の切除	<ul style="list-style-type: none"> <li>落花期以降に症状が発見しやすくなる</li> <li>症状のある部分の枝を切除し、園地外で処分する</li> </ul> ※2 病害虫防除（2）参照	開花期～ 落花期以降		
弱樹勢樹対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての花蕾を摘み取り、追肥を行う</li> </ul> ※3 今後の管理（3）参照	兆候を確認した 時点		
苗木の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>定植した苗木は、土壌水分の変動に弱いため、マルチを設置し、こまめにかん水を行う</li> </ul> ※3 今後の管理（4）参照	定植後、随時		
凍霜害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>マルチは、降霜の危険性がなくなるまで設置を控える</li> <li>雑草の草丈が長い場合は、短く刈り込む</li> <li>冷気の通りを妨げる防風ネットや障害物等は除去する</li> </ul> ※3 今後の管理（5）参照	4月上中旬		